



## 9年生の成長した姿こそが小中一貫教育の成果

学園長 田中 稔

いよいよ、令和3年度も残すところ一か月となりました。今年度も昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の流行により、児童・生徒にとっては、マスクを着用する「不自由な」学園生活を送らざる得ない毎日であり、教員にとっても、感染対策に神経をすり減らさなければならない毎日でした。特に、入試を控えていた9年生と一部の6年生やその保護者の方々は、さぞかしご不安な毎日を送られていたことだと思います。

入試と言えば、毎年、第6学年の約4割弱の児童が公立中高一貫教育校や私立中学校の受験をします。この4割という数字は、井の頭線沿線の近隣の小学校の受験者の割合よりも低いものの、義務教育の9年間を貫く教育課程を組み、小中一貫教育を進める本学園としては、「その良さ・成果が伝わっていないのではないか」「中学部での教育が小学部保護者のニーズに合っていないのではないか」と不安になる数字もあります。

正直、区教育委員会、CS、学園等が毎年行う保護者対象の調査やアンケートにおいても、小中一貫教育についての成果を問う質問についての肯定率はあまり高いものではありません。かつてCSからも小中一貫教育の成果を学力向上などの数字で示す必要があるのではという意見をいただいた事もありました。そのような指摘をいただいた時、私は数字で成果を表す事も必要ではあるが、「9年生の成長した姿でその成果を証明したい」と答えたことを今でも覚えています。

現在の9年生のことを私は小学部5年生の時から見てきました。そして、11月、12月には、高校入試に向けた面接練習でほぼ全員の9年生と直接話をしました。多くの生徒が小学部時代の中学校生との交流や中学校生として小学部生の目指す姿になるよう心掛ける中で成長してきたことを語っています。面談の時だけではなく、ある日、小学部の時、少し「やんちゃ」だった生徒たち数人に「どうしてそんなに成長したの？」と問いかけると「後輩のお手本にならなければいけないので」「小学部の時の学級担任の先生に成長した姿を見せたいので」などの返答がありました。実際、日常の様子を見ていると、授業にも行事にも意欲的に参加する素敵な中学生になっていることに驚かされます。杉並区立学校の全生徒を対象とする意識実態調査で一般的には、中学校の高学年になるにつれて肯定率が下がっていく「自分で努力すれば、たいていのことができるようになると思う」という自己効力感にかかる設問や「人の気持ちを分かろうとしている」という他者への受容を問う設問については、7年生時より10ポイント以上高くなっています。9年生は心の面でも確実に成長しています。

学習面においても、今年、そして昨年の9年生の国・区の学力調査等（令和2年度は未実施）の結果から小中一貫教育の成果は証明できつつあります。（横のグラフ）私は中学校の教員たちの指導力を高く評価しています。しかし、9年生の中学校に入学した後の自己効力感等の内面の成長と急激な学習意欲・学力の向上は、教員の指導力や家庭のサポートだけで説明はつきません。やはり、小中一貫教育が行われる本校の特性もあるのだと思います。

そろそろ小学部の中学校年の児童のご家庭は、小中一貫教育を行う中学校に進学するのか、中高一貫教育を行う他校に進学するのか悩み始める頃だと思います。少なくとも、小中一貫教育校の学園長である私は、9年生の育った姿から本学園の中学校の教育に自信を深めています。9年生、中学校生の学ぶ姿から進学先をご検討いただきたいと思います。

次年度については、さらに中学校でのキャリア教育を充実させるために地域教育推進協議会の機能を生かし、ネットワーク内にある大学での中学生の「大学生1日体験」等の実施を計画しております。

新型コロナウイルス感染症の流行した本年度一年、学園はPTA・地域の皆様のお力添えをいただき、「児童・生徒の学びを止めない」という気概のもと、できる限り例年に近い教育活動を工夫して実施してまいりました。また、全児童・生徒に配付されたタブレットPCを活用した授業やオンラインでの授業等について、時に実験的なものもありましたが、意欲的に挑戦してきました。児童・生徒には、これまでの「三つのC」で表す教育目標に示されている態度等を身に付けさせるとともに、「Diversity-多様性を認め合う人-」を目指した教育を進めてきました。来年もその方向性はほぼ同じものとなります。そのことを目指した学習の内容については、新型コロナウイルス感染症が行く手を阻もうとしたとしても、さらにバージョンアップを図り進めてまいりたいと思います。

## 小学部

- 生活目標●  
一年間を振り返ってみよう
- 安全目標●  
3.11から学ぼう

## 中学部

- 生活目標●  
一年間を振り返ろう
- 安全目標●  
3.11から学ぼう

## 小中共通

- 保健目標●  
一年間を振り返ろう
- 給食目標●  
一年間の給食を振り返ろう



9年生の学力の推移(本学園の平均値 - 区の平均値)

# 3月の行事予定



しーばくん

日	曜	予 定		日	曜	予 定	
		小 学 部	中 学 部			小 学 部	中 学 部
1	火	読み聞かせ(3年) 保護者会・4時間授業(仲・1・2年)	安全指導	17	木	放課後パワーアップ教室	
2	水	午前授業		18	金		中学部卒業式 臨時休業日(7A・8A、7・8年)
3	木		お別れ会・保護者会(A) 保護者会(7・8年)	19	土		
4	金	安全指導 起震車体験(5年) 保護者会・4時間授業(5・6年)	伝統文化体験(A)	20	日		
5	土	感謝の会(6年) 学習発表会(1年)	土曜授業 短縮時程 普通救命救急(9A・9年)	21	月	春分の日	
6	日			22	火		
7	月	小学朝会 委員会	卒業式練習始 伝統文化体験(9B)	23	水	給食終 卒業式予行	大掃除
8	火	読み聞かせ(1・2年) 保護者会・4時間授業(3・4年)		24	木	修了式	
9	水	午前授業 水曜手習い		25	金	小学部卒業式	春季休業日始~ 4/5(火)
10	木	放課後パワーアップ教室	伝統文化体験(9C)	26	土	春季休業日始~ 4/5(火)	
11	金	6年生を送る会 避難訓練(3.11)		27	日		
12	土						
13	日			4/ 5	火	前日準備(新6年)	
14	月	学年朝会 クラブ	生徒朝会	6	水	小学部入学式	始業式
15	火	読み聞かせ(6年)		7	木	安全指導 給食始	中学部入学式
16	水	郷土博物館見学(3年)	9年生門出送り 卒業式予行演習	8	金	保健指導 視力検査(5・6年)	安全指導 給食始

## 学校支援本部コーナー

まだまだ寒い日もありますが、太陽の日差しは春、気分も明るくなります。

昨年夏の東京オリンピックに続き、中国北京での冬季オリンピックが開催されました。毎日夜遅くまでテレビ観戦された方もたくさんいらっしゃったと思います。選手たちの辛い練習に耐えてきた努力を想像し、限界まで頑張る姿は国を超えて応援したくなりました。

今年度も学園の子どもたちに元気をたくさんもらいました。皆さんは、この1年思うように体験出来なかつたこともあったと思いますが、私たち支援本部のメンバーは先生たちと出来る方法を工夫してきました。

9年生・A組の「社会貢献活動」「伝統文化体験」もその1つです。毎年行ってきたことを出来ないと止めることは簡単ですが、その学年の皆さんには一生に一度の体験になるかもしれません。一つ一つの体験が、弱い人たちへの気配りをする人になったり、知らないことを知ることで心豊か人になったりするに違いありません。

いつも熱心に取り組む子どもたちの姿は私たちのやりがいに繋がります。

今年度もPTAや地域の皆様には、学校支援本部の活動にご理解頂き大変感謝申し上げます。来年度も変わらぬご支援を賜りますようお願い致します。



吉橋 正美

## 学校運営協議会コーナー

令和3年度を振り返ってみようと、田中學園長先生が学園HPに書かれている「学園長のゆ~いぎな話」を読み直してみました。

4月初旬の始業式や入学式は、天候に恵まれたため、校庭で実施できました（中学部は体育館で実施）。

田中學園長の思いは、始業式における式辞によく現れています。学園の教育目標となった「3つのC」のうち、「コミュニケーション・豊かにかかわる」と「チャレンジーひたむきに挑戦する」のお話がありました。

また、中学部の男女混合名簿や、5組をA組に変更する等、子供たちに寄り添った改革を進めてくれたことがわかります。小さな改革のようにみえますが、そのための準備には多くの先生方が関わり、多くの時間をかけて準備してくださいました。

しかし、コロナウイルスの影響がなくなったわけではありません。4月12日からまん延防止等重点措置に、4月26日からは緊急事態宣言期間に入りました。中学部の運動会は体育競技会に、小学部の運動会も11月にスポーツフェスティバルとしての実施でした。今年度の目玉であった東京オリンピック・パラリンピックの見学も縮小となりました。こうした行事の日程変更等も先生方の献身的な準備の上で実現できたものです。

読めば読むほど、学園の皆さん努力と地道な活動に感謝する思いでいっぱいになります。そして我慢を強いられる学園生活の中で頑張った子供たちを是非褒めてあげてください。令和4年度は子供たちの我慢が少しでも少なくなるようにと願っています。



会長 坂野 慎二

